

## 平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社フルヤ金属  
 コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 古屋 堯民  
 (氏名) 大石 一夫

TEL 03-5977-3377

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年6月期第2四半期の業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	15,301	△19.8	1,297	△53.4	1,279	△52.4	596	△76.5
23年6月期第2四半期	19,067	80.5	2,783	41.3	2,687	38.4	2,540	50.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	82.44	82.14
23年6月期第2四半期	434.68	432.53

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第2四半期	33,687	19,029	56.4	2,625.91
23年6月期	33,849	18,707	55.2	2,584.05

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 19,004百万円 23年6月期 18,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,240	△16.9	1,750	△60.7	1,680	△59.8	830	△77.0	114.72

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	7,265,212 株	23年6月期	7,265,212 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	27,850 株	23年6月期	32,603 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	7,265,212 株	23年6月期2Q	5,847,982 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	1
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災後に落ち込んだ鉱工業生産が、サプライチェーンの回復に伴い急速に拡大し、復興需要による公共投資の増加や、個人消費の緩やかな回復傾向が出てまいりました。一方、米国国債の格付問題や、ギリシャの債務問題以降、動揺しているユーロ圏経済の悪化が続き、円が史上最高値を更新後高止まりし、さらに、タイで発生した洪水の影響で、自動車産業や電子、精密機械産業を中心に厳しい状況が続きました。

このような経済環境の中、各種電子部品や電子デバイス、半導体の需要は、地デジ切替後の薄型テレビ生産減少も含め、情報通信機器の生産が減少し、半導体製造装置の受注環境も悪化するなど、全体として弱含み、さらにタイで発生した洪水の影響で、当社もHD向けルテニウムターゲットの受注が大幅に減少し、販売単価も下落いたしました。また、第1四半期まで堅調であったLED関連需要も、第2四半期に入り減少し、当社主力製品であるイリジウムルツボの受注も大幅に減少いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間において、売上高15,301百万円（前年同期比19.8%減）、売上総利益2,274百万円（前年同期比38.4%減）、営業利益1,297百万円（前年同期比53.4%減）、経常利益1,279百万円（前年同期比52.4%減）、四半期純利益596百万円（前年同期比76.5%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ①セグメント別の業績

##### [電子]

液晶テレビのバックライト向けLEDの需給緩和やユーロ圏経済の悪化などから、取引先の設備投資計画がペースダウンし、LED基板に使用される人工サファイア単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が減少したことから、売上高7,592百万円（前年同期比13.0%減）、売上総利益1,452百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

##### [薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が増加しましたが、HD向けルテニウムターゲットは、在庫調整が続いていたところに、タイの洪水の影響から大幅に受注が減少し、円高や販売単価の下落の影響も受けて、売上高5,307百万円（前年同期比26.6%減）、売上総利益499百万円（前年同期比62.7%減）となりました。

##### [センサー]

半導体市況が低迷し、半導体製造装置業界の受注環境が悪化したことから、売上高640百万円（前年同期比28.8%減）、売上総利益200百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

##### [その他]

電極材料としての貴金属化合物の受注は堅調に推移いたしましたが、化学・化成品プラント向け触媒製造用貴金属化合物の受注が減少し、販売単価も下落したことから、売上高1,761百万円（前年同期比20.3%減）、売上総利益121百万円（前年同期比69.0%減）となりました。

#### ②海外売上

当第2四半期累計期間における輸出売上高は2,616百万円（総売上高に占める割合17.1%）となりました。地域別にはアジア向け輸出売上高2,435百万円（海外売上高に占める割合は93.1%）、北米向け輸出売上高146百万円（海外売上高に占める割合は5.6%）、欧州向け輸出売上高34百万円（海外売上高に占める割合は1.3%）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は33,687百万円（前事業年度末比162百万円の減少）、負債は14,658百万円（前事業年度末比484百万円の減少）、純資産は19,029百万円（前事業年度末比322百万円の増加）となりました。

##### [流動資産]

当第2四半期会計期間末における流動資産残高は27,470百万円となり、前事業年度末比51百万円減少いたしました。これは受取手形及び売掛金が940百万円、未収消費税等が263百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が242百万円、たな卸資産が917百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

##### [固定資産]

当第2四半期会計期間末における固定資産残高は6,216百万円となり、前事業年度末比112百万円減少いたしました。

[流動負債]

当第2四半期会計期間末における流動負債残高は9,881百万円となり、前事業年度末比1,238百万円減少いたしました。これは短期借入金が2,500百万円、1年内返済予定の長期借入金が312百万円それぞれ増加しましたが、買掛金が3,341百万円、設備関係未払金が465百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

[固定負債]

当第2四半期会計期間末における固定負債残高は4,776百万円となり、前事業年度末比753百万円増加いたしました。これは長期借入金が947百万円増加したことが主な要因であります。

[純資産]

当第2四半期会計期間末における純資産残高は19,029百万円となり、前事業年度末比322百万円増加いたしました。これは繰越利益剰余金が291百万円増加したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前事業年度末比242百万円増加（前年同四半期は430百万円増加）し、4,438百万円となりました。なお、当第2四半期累計期間における項目別のキャッシュ・フローは、次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動に使用した資金は2,615百万円（前年同四半期は719百万円の使用）となりました。これは、キャッシュ・フローの増加要因として、税引前四半期純利益が1,308百万円、減価償却費が287百万円、売上債権の減少が945百万円ありましたが、キャッシュ・フローの減少要因として、たな卸資産の増加が917百万円、仕入債務の減少が3,579百万円あったことが主な要因であります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動に使用した資金は615百万円（前年同四半期は290百万円の使用）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が582百万円あったことが主な要因であります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動により獲得した資金は3,474百万円（前年同四半期は1,443百万円の獲得）となりました。これは長期借入金の返済が700百万円ありましたが、長期借入金による収入が1,960百万円、短期借入金による収入が2,500百万円あったことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間の業績動向を踏まえ、平成23年8月12日付「平成23年6月期決算短信」にて公表いたしました平成24年6月期通期業績予想を修正しております。詳細については平成24年1月20日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.69%から、平成24年7月1日に開始する事業年度から平成26年7月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については38.01%に、平成27年7月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.64%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は14百万円減少し、法人税等調整額は14百万円増加しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,206	4,448
受取手形	139	240
売掛金	3,549	2,508
商品及び製品	2,526	2,302
仕掛品	1,698	1,957
原材料及び貯蔵品	14,806	15,689
前払費用	61	74
繰延税金資産	53	30
未収消費税等	463	200
その他	16	18
流動資産合計	27,521	27,470
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,662	2,581
構築物（純額）	83	84
機械及び装置（純額）	1,526	1,481
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	19	19
土地	1,612	1,612
リース資産（純額）	106	105
建設仮勘定	39	4
有形固定資産合計	6,049	5,889
無形固定資産	155	145
投資その他の資産	123	182
固定資産合計	6,328	6,216
資産合計	33,849	33,687

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,901	2,560
短期借入金	1,700	4,200
1年内返済予定の長期借入金	1,293	1,605
リース債務	34	37
未払金	490	251
未払法人税等	464	905
災害損失引当金	50	49
賞与引当金	116	61
役員賞与引当金	36	—
設備関係未払金	473	8
前受金	397	69
その他	161	132
流動負債合計	11,119	9,881
固定負債		
長期借入金	3,060	4,007
繰延税金負債	171	—
リース債務	98	89
退職給付引当金	235	241
長期未払金	425	406
資産除去債務	14	14
その他	16	16
固定負債合計	4,023	4,776
負債合計	15,142	14,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本準備金	5,414	5,414
利益準備金	9	9
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	7,904	8,195
自己株式	△163	△139
株主資本合計	18,689	19,004
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△0
評価・換算差額等合計	—	△0
新株予約権	17	24
純資産合計	18,707	19,029
負債純資産合計	33,849	33,687

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	19,067	15,301
売上原価	15,375	13,027
売上総利益	3,691	2,274
販売費及び一般管理費	908	976
営業利益	2,783	1,297
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	5
デリバティブ評価益	9	—
助成金収入	—	19
雑収入	2	7
営業外収益合計	11	34
営業外費用		
支払利息	93	49
為替差損	14	—
デリバティブ評価損	—	2
雑損失	—	0
営業外費用合計	107	51
経常利益	2,687	1,279
特別利益		
受取保険金	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	7	—
特別損失合計	7	0
税引前四半期純利益	2,679	1,308
法人税、住民税及び事業税	110	887
法人税等調整額	28	△175
四半期純利益	2,540	596

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,679	1,308
減価償却費	271	287
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	93	49
為替差損益(△は益)	14	△5
売上債権の増減額(△は増加)	244	945
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,410	△917
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,214	△3,579
未収消費税等の増減額(△は増加)	335	263
前受金の増減額(△は減少)	26	△328
その他	△31	△145
小計	8	△2,122
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△96	△50
保険金の受取額	—	29
法人税等の支払額	△631	△472
営業活動によるキャッシュ・フロー	△719	△2,615
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
関係会社株式の取得による支出	—	△29
無形固定資産の取得による支出	△4	—
有形固定資産の取得による支出	△285	△582
その他	△0	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290	△615
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	215	2,500
長期借入れによる収入	1,950	1,960
長期借入金の返済による支出	△607	△700
株式の発行による収入	3	—
ストックオプションの行使による収入	—	4
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△116	△289
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,443	3,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	430	242
現金及び現金同等物の期首残高	753	4,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,184	4,438

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高 外部顧客への売上高	8,730	7,227	899	2,209	19,067
セグメント利益	1,679	1,339	282	390	3,691

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高 外部顧客への売上高	7,592	5,307	640	1,761	15,301
セグメント利益	1,452	499	200	121	2,274

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。